

全建発第29～109号
平成29年 7月10日

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石 久 和

印省略

第633回建設技術講習会の開催について

(工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み)

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等の自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction(建設現場の生産性向上)など、時代の要請に応えた施策の展開を図っていくことが重要となっており、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第633回建設技術講習会では、積算の最新事情と今後の動向及びi-Constructionの今後の推進、土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点、ICT施工における新たな積算基準の制定、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、工事事務と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策などについて学ぶことを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第633回建設技術講習会開催について (工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。
本協会では、平成29年9月6日(水)～8日(金)、盛岡市において標記講習会を開催いたします。
この講習会では、積算の最新事情と今後の動向及びi-Constructionの今後の推進、土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点、ICT施工における新たな積算基準の制定、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、工事事務と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策などについて学ぶことを目的としています。
なお、本講習会は岩手県・盛岡市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
岩手県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
岩手県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満の正会員及び地元割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,800円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません

注) 今回の現場研修は受け入れ先の都合により人数制限(270名/大型バス6台)があります。
申込締切日前に予定人数に達した場合には、現場研修の申込をお断りさせていただきます。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「633」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成29年8月18日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成29年8月25日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成29年9月1日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8単位/3単位、CPDS：10ユニット/2ユニット※現場研修は予定

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第633回建設技術講習会(工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み)日程 ～土木工事、建築工事における積算の動向や安全管理に関する具体の取り組み及び 生産性の向上に向けたi-Constructionの取り組みについて学ぶ～

- ・積算の最新事情と今後の動向及びi-Constructionの今後の推進について
- ・土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点などについて
- ・ICT施工における新たな積算基準の制定について
- ・会計検査にみる設計、積算、施工における留意点について
- ・工事事故と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策について

会場 …… アイーナ(7階 小田島組☆ほ～る)
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 TEL019-606-1717(代)

(1日目) 開場11:40	平成29年9月6日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	岩手県知事 盛岡市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	達 増 拓 也 谷 藤 裕 明 中 嶋 章 雅
13:00 } 建設マネジメントの最新事情や今後の動向について 14:00 ~ICT施工における新たな積算基準の制定について～	国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官	竹 下 正 一
14:10 } 公共工事と会計検査 15:10 ~設計、積算、施工における留意点～	(一財)経済調査会 技術顧問・参与 (元会計検査院農林水産検査第4課長)	芳 賀 昭 彦
15:20 } ヒューマンエラーの原因と対策 16:20	常磐大学人間科学部心理学科 教授	申 紅 仙
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞ (17:00～18:30(予定))		カフェテラス スカイメトロ (マリオス20階) TEL019-621-5020
(2日目) 開場 9:00	9月7日(木)	(敬称略)
9:40 } 公共建築工事の円滑な施工確保対策について 10:40	国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕積算企画調整室 室長	く い びら 健 椛 平
10:50 } ICT活用工事について 11:50	国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官	矢 作 智 之
13:00 } 【地域事業の紹介①】(H26年全建賞) 13:30 三陸鉄道東日本大震災復旧事業 ~三陸鉄道全線復旧への歩み～	三陸鉄道(株) 運行本部長	金 野 淳 一
13:30 } 【地域事業の紹介②】 14:00 東日本大震災の復旧・復興等について	岩手県県土整備部 河川港湾担当技監	八 重 樫 弘 明
14:10 } 土木工事標準歩掛の最近の動向と 15:10 適用上の留意点について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 施工安全企画室 課長補佐	姫 野 芳 範
15:20 } 建設工事における事故と安全対策について 16:20	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐	堤 英 彰
16:20 } 閉会のあいさつ	岩手県建設技術協会長 (岩手県県土整備部道路建設課総括課長)	田 中 隆 司
(3日目) 集合 7:00～	9月8日(金) 【現場研修】	

JR盛岡駅西口2階バスロータリー(7:30)出発

- 高田地区海岸災害復旧事業、陸前高田市区画整理事業(嵩上げ市街地)(下車説明)
- 高田松原津波復興祈念公園(奇跡の一本松、砂浜再生、松原再生)、気仙川災害復旧事業(気仙川水門)(下車説明)
- 大船渡港海岸防潮堤整備事業(下車説明) → 昼食(大船渡市内)
- 東北横断自動車道事業 釜石秋田線[ICT施工](下車説明)
- いわて花巻空港(15:30) / JR盛岡駅(16:20) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第633回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 陸前高田市震災復興事業

…………… 陸前高田市

風光明媚なリアス式海岸に位置し、東北有数の海水浴場でもあり国の名勝にも指定されている陸前高田市の「高田松原」を含む周辺一体は、年間約100万人が訪れる観光地でもありました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では地盤沈下や液状化が生じたとともに、地震直後に発生した大津波は気仙川を7km以上遡上し、中心市街地を含め壊滅的な被害をもたらし、死者・行方不明者は1,759人にも及び、県内最大の被災地となりました。

現在、新しい中心市街地となる区域の土地区画整理事業によるかさ上げ工事や安全・安心な暮らしを支える防潮堤、水門の復旧・整備を進めるとともに、高田松原の賑わいの再生のため、松原や砂浜の再生、復興祈念公園の整備を行なっています。

①陸前高田市被災市街地復興土地区画整理事業

津波により市役所をはじめ中心市街地のほぼ全ての建物が流出した高田地区と今泉地区においては、土地区画整理事業により、高台住宅地の整備や浸水区域の一部をかさ上げし、商業施設等を配置するなど、安全でコンパクトな新しい市街地の整備を進めています。

施行面積は、高田地区が約186ha、今泉地区は約112haと被災地最大規模であり、全長3kmに及ぶベルトコンベアを使用した土砂搬出により工事期間の短縮を図りました。平成32年度の事業完成を目指しています。今年4月には、高田地区のかさ上げ地で初の営業となる大型商業施設「アバッセたかた」と「まちなか広場」がオープンし、7月には市立図書館が開館するなど、新たな中心市街地が形成されつつあります。



陸前高田市被災市街地復興土地区画整理事業

②高田地区海岸災害復旧事業

東日本大震災では海岸の防潮堤が倒壊・流失しました。復旧工事は、海岸沿いの第一線堤と第二線堤を整備し、第一線堤は震災前と同じ海拔3mで整備し、第二線堤は震災前の5.5mに対して12.5mと2倍以上の高さとなります。

また、同じく津波で損壊した海中の人工リーフ（1,200m）も震災前と同様に再整備を実施し、平成28年12月に気仙川水門に隣接する区間を除き完成しました。



高田地区海岸災害復旧事業

③気仙川災害復旧事業（気仙川水門）

東日本大震災に伴う大津波は、海岸付近で最大痕跡高は海拔17.0mであったことが確認されております。二級河川気仙川では、災害復旧事業として、水門を設置し、防潮堤の再整備とあわせて、新しい市街地を津波から守ります。

昨年度までに気仙川右岸側3門の水門土木・設備工事を終え、平成31年度の完成を目指して、左岸側の水門（2門）の工事を進めています。



気仙川災害復旧事業（気仙川水門）

④高田松原津波復興祈念公園事業周辺（奇跡の一本松、砂浜再生、松原再生）

被災前の高田松原周辺は、道の駅「高田松原」、県営野外活動センター、市営「海と貝のミュージアム」や市営野球場、そして7万本と言われた松林や海水浴場があり、賑わいの場、逍遥する空間でした。

巨大な津波に耐えた「奇跡の一本松」は、塩水の影響で枯死しましたが、モニュメントとして整備され、復興のシンボルとしての役割を果たしています。

この「奇跡の一本松」を含む約130haの区域は、高田松原津波復興祈念公園として国・県・市が連携し整備を進めており、国営追悼・祈念施設（仮称）及び周辺区域や新道の駅等については、平成32年度の供用を目指しています。また公園区域内では、白砂青松を取り戻すべく「松原」と「砂浜」の再生事業についても平成31年度の完成を目指し実施しています。



高田松原津波復興祈念公園鳥瞰イメージ

2. 大船渡海岸防潮堤整備事業

大船渡港は、昭和34年に重要港湾に指定され、セメントやその原燃料が多く取り扱われていました。

被災前の防潮堤の高さは海拔3～3.5mでしたが、東日本大震災津波における大船渡港津波痕跡高さは10.4mであり、大船渡市内でも甚大な被害が生じました。

このため、大船渡港の津波対策として、本年3月に復旧した国土交通省施工の湾口防波堤との組合せにより、防潮堤の計画高さを海拔7.5mとし、延長約7kmに及ぶ防潮堤の復旧及び整備を進めています。

東日本大震災津波の発生時には、水門・陸閘の閉鎖作業に関わり多くの消防団員が犠牲になった事実を踏まえ、現地作業が生じないよう自動閉鎖システムの導入も進めています。



3. 東北横断自動車道釜石秋田線 建設事業

東北横断自動車道釜石秋田線は、国の震災復興のリーディングプロジェクトに位置付けられ、「復興支援道路」として、かつてないスピードで整備が進められています。

平成23年度に事業化された釜石JCT～釜石西IC（6km）及び遠野住田IC～遠野IC（11km）では、現在、国土交通省によりトンネル工、橋梁工等が実施されています。

両工区の平成30年度の完成により、釜石秋田線は全線開通することとなります。

これにより内陸部と重要港湾釜石港を結ぶ物流の効率化、沿線の企業立地の促進、地域医療の連携強化等多くの効果が期待されます。

また、釜石市はラグビーワールドカップ2019™の会場の一つとして選ばれており、大会を契機に国内外から多くの観光客が訪れることが見込まれ、三陸沿岸地域の観光振興、引いては岩手県の復興にも大きな役割を果たすこととなります。



第633回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には盛岡市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3~1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成29年9月5日(火)、6日(水)、7日(木)

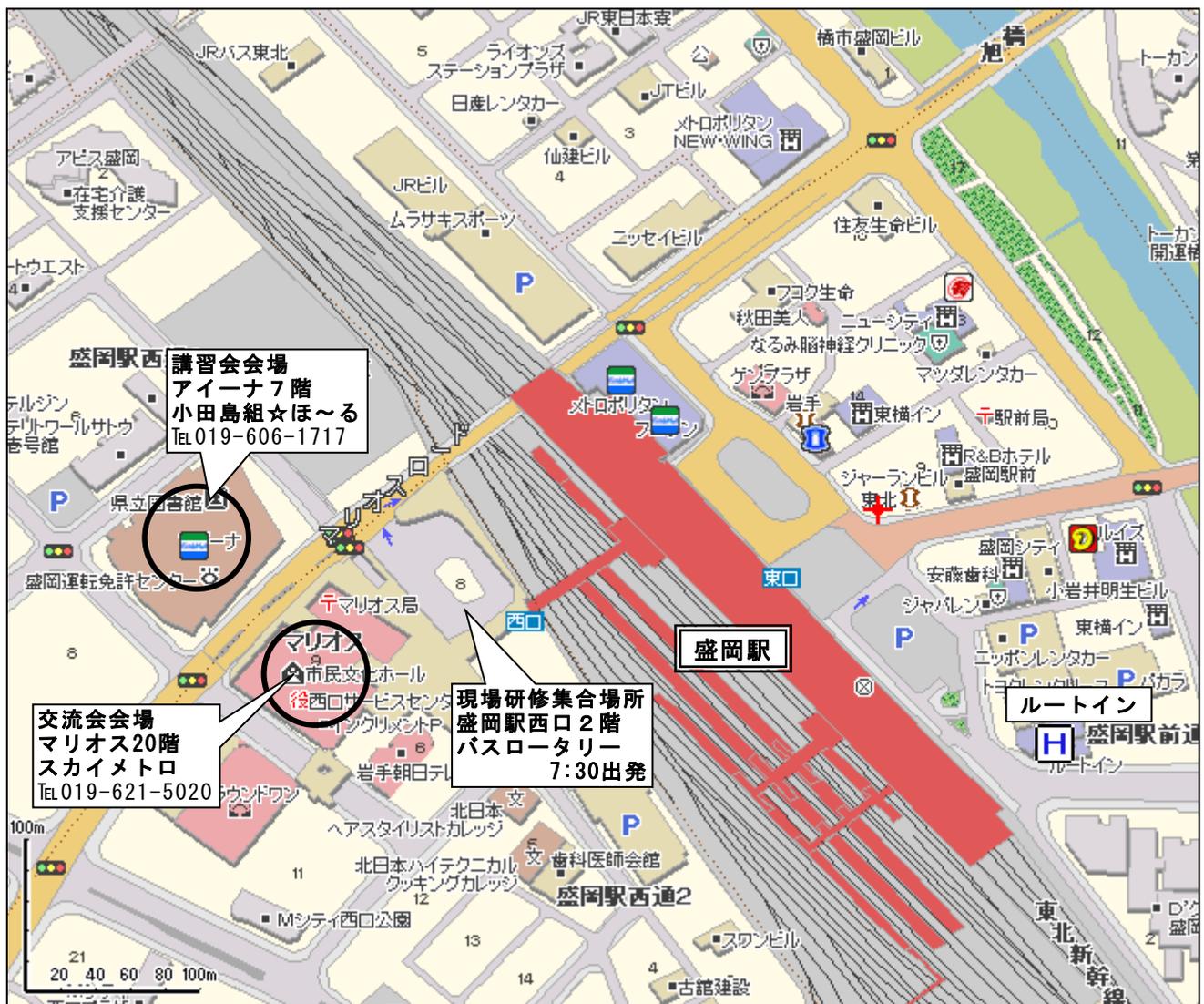
(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ルートイン盛岡駅前	盛岡市盛岡駅前通3-25 Tel.019-604-3100	シングル	40名	8,050円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

案内図



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第633回建設技術講習会（工事積算（土木・建築）の動向とi-Constructionの取り組み）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般(非会員)	会員	正会員 30歳未満			予約日に○を記入して下さい		
								9月5日	6日	7日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)						↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※	宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。			
現場研修料 名×7,800円＝ 円										
計										

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第633回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成29年9月6日(水) 17:00~18:30(予定)
(第633回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：マリオス 20階「カフェテラス スカイメトロ」(予定)

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
- ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|----------------------------------|----------|
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官 | 竹下 正一 講師 |
| ・(一財)経済調査会 技術顧問・参与 | 芳賀 昭彦 講師 |
| ・常磐大学人間科学部心理学科 教授 | 申 紅仙 講師 |
| ・国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課営繕積算企画調整室 室長 | 柘平 健 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官 | 矢作 智之 講師 |
| ・国土交通省総合政策局公共事業企画調整課施工安全企画室 課長補佐 | 姫野 芳範 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com